

## 「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2023」への ご参加・ご協力をお願い申し上げます

「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い」実行委員会  
代表 河合 節子

### イベントの紹介とお願い

1945年3月10日、アメリカ軍のB29爆撃機による焼夷弾無差別爆撃で、東京の下町一帯（現在の台東区・中央区・墨田区・江東区など）は焼け野原となり、一夜にして約10万人の人たちが犠牲になりました。この「東京大空襲」をはじめ、東京は戦時中に100回以上の空襲を受けました。

私たちは、2021年から、東京都江東区にある東京大空襲・戦災資料センターで、「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い」というイベントを開催しております。

東京には、沖縄の「平和の礎」のような、誰でも見られる形で犠牲者のお名前を刻んだものはほとんどなく、犠牲者の名簿も原則非公開です。犠牲者は「約10万人」として紹介されることが多く、私たちがそうであるように、名前・顔・人格・個性をもった一人ひとりとして十分に記録・記憶されているとは言えません。

このイベントでは、東京大空襲があった3月に、東京への空襲で犠牲となられた方々のお名前を読み上げます。そのことを通じて、その一人ひとりがたしかに生きていたことを思い起こし、心に刻むとともに、その犠牲を追悼し、次世代に継承しようという取り組みです。

戦後77年以上が経った今、空襲を体験した人たちはどんどん少なくなり、かつての日本の戦争・空襲の痛ましい出来事は、私たちからますます遠ざかっていきます。その一方で、昨年2月以降のロシア軍によるウクライナ侵攻で、戦争・空襲（空爆）は過去の歴史ではなく、現実のものとして私たちの目の前に現れています。そこでは、多くの人が苦しみ、傷つき、犠牲となっています。そして、いまだ終わりが見えません。

こんな時代だからこそ、私たちは、かつての戦争による犠牲を改めて思い起こし、そのような理不尽な犠牲がこれ以上起こらないよう、平和への誓いを新たにすることがあるのではないのでしょうか。

2023年は、下記の「開催要項」のような内容で実施できるよう、準備を進めております。

昨年までの積み重ねに加え、今年は学校や地域（慰霊碑など）にも輪を広げ、より多くの犠牲者のお名前を、子どもたちを含むより多くの方々と一緒に読み上げたいと考えています。

このイベントには色々な形でご参加・ご協力いただくことができます。次ページの「**ご参加・ご協力について**」をご覧ください。

お申込みやお問い合わせは末尾記載の連絡先にて受け付けております。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 開催要項 東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2023

日時：2023年3月9日（木） 午後 ※場合によっては午前も

会場：東京大空襲・戦災資料センター または リモート（Zoom）による中継

内容：【継続】昨年を読み上げた1,582名分のお名前を読み上げる

- :【新規】区内の各学校における犠牲者の記録調査を進め、判明した分のお名前を読み上げる
- :【新規】都内各所の慰霊碑などに刻んである犠牲者の名前を調査し、読み上げる
- :参加者同士の交流（感想や意見交換など）

### ご参加・ご協力について

- ◆本イベントは実行委員会形式で企画・運営しています。実行委員やボランティアとしてご参加・ご協力いただける方を広く募っております。
- ◆イベントで読み上げるお名前のご提供も受け付けております。個人・学校・地域などを問わず、様々なところに残されている犠牲者のお名前について情報をお寄せください。  
※犠牲者のお名前については、記録をどのように調査したらよいか、また読み上げにあたって個人情報取り扱いはどうなるかなどのご懸念もあろうかと存じます。ぜひ一度ご相談ください。
- ◆ぜひ、読み手として、犠牲者のお名前の読み上げにご参加ください。会場だけでなく、リモートでの読み上げも可能です。
- ◆ご視聴（会場、オンライン）も歓迎いたします。  
イベント当日の読み上げへのご参加・ご視聴についての詳細は、後日お知らせいたします。
- ◆イベントの運営にあたり、実行委員会へのカンパも受け付けております。会場となる東京大空襲・戦災資料センターの郵便振替口座（00170-6-123225）にお送りください。ご送金の際は、**通信欄等に「名前 2023」とご入力ください。**

### 参考情報

- ★戦争の犠牲を追悼し、その記憶を継承するために犠牲者のお名前を読み上げることは、東京以外でもおこなわれています。日本では、シベリア抑留の犠牲者（46,300人）や沖縄戦の犠牲者（約240,000人余）の読み上げが有名です。新聞やインターネットなどで報じられていますので検索してみてもいかがでしょうか。  
東京のイベントは、それらの先例に学んで最近始まったもので、昨年読み上げた1,582人は、約10万と言われる犠牲者全体の約1.5%にとどまります。ここから、一緒に輪を広げていきませんか。

以上

#### <お問い合わせ先>

実行委員会ホームページ <https://namesofairraidvictims.jimdofree.com/>

実行委員会メールアドレス [names.of.air.raid.victims@gmail.com](mailto:names.of.air.raid.victims@gmail.com)

または

実行委員 比江島（ひえしま） 東京大空襲・戦災資料センター内

TEL：03-5857-5631 FAX：03-5683-3326 Email：[tokyoraids@gmail.com](mailto:tokyoraids@gmail.com)